

Title	アクティブラーニング特集号
Author(s)	聖学院大学総合図書館
Citation	ぱびるす：聖学院大学図書館報 / 聖学院大学総合図書館, 第 58 号, 2014
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/repos/modules/xoonips/detail.php?item_id=5190
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

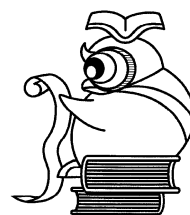
SEigakuin Repository and academic archiVE

ぱびるす

聖学院大学総合図書館報

第58号 (2014年春)

アクティブラーニング
特集号



狩猟時代に備えて アクティブラーニングの勧め

小川 洋



江戸時代の実話。ある藩の家臣たちは粗暴な振舞いの目立つ世継ぎの若殿に手を焼いていた。ある時、学問をさせれば思慮深く性格も穏やかになると考えた家老が儒者を招くことにした。

挨拶に現れた儒者を前に若殿は、「学問をすれば、やたらと腹を立てたりすることもなくなるのか」と問うた。儒者は「その通りでございます」と答えた。若殿は突然、儒者に歩み寄り、その襟首を掴んで足払いを掛けた。多少無然とした表情で座り直した儒者に、若殿は「腹立ちを覚えておるようだな」と言いながら再び転ばした。儒者は憤然としてその場を去った。

恐らくこの若殿、学問とは聖人君子の言葉や事績をただ覚えることだと考えていたのであろう。しかし江戸時代の日本人はもっとアクティブな学問を好んだ。優秀な儒者たちは、生徒たちに聖人の言葉をさまざまに解釈して議論することを奨励した。評判の良い塾には全国各地から人々が集まり、そこからはまた優秀な学者が育った。若殿が良い師に恵まれ、学問とは知恵を出し合うことだと理解し学問の面白さに目覚めることがあったな

らば、名君になったであろう。

ところで明治以降の日本では、学問は欧米の知識を吸収することと同義語になり、学校は与えられる情報をひたすら吸収する場になってしまった。事情はヨーロッパでもあまり変わらない。とくに大学図書館は真理を語ったギリシャ以来の哲人たちの高邁な言葉に触れる神聖な空間であった。

しかし今や、あらゆる情報はデジタル化され一瞬にして世界中を駆け巡る。一人静かに古人と対話する時間も大切だが、仲間と情報を集め、知恵を出し合って状況を切り拓いていかないと世界から取り残される時代だ。獲物を追って狩りをしてきた時代から、人類はいつも互いにアイデアを出し合って生きてきた。マンモスを集団で追っている姿を想像してみよう。その意味では現代は、再び狩猟時代に戻りつつあるのかもしれない。

いま世界中の図書館は変身中だ。従来の活字情報に加えてネット情報にもアクセスしながら集団的な学習をする場が変わりつつある。聖学院大学にもアクティブラーニングの環境が用意されるようになった。仲間ゼミの準備をするもよし、議論しながら授業の宿題に取り組むもよし。積極的な活用を待っている。

(政治経済学科・基礎総合 教授)



NEW YEAR ビブリオバトル 開催

2014年1月9日、アクティブラーニング・スペースのオープンに先立ち、ビブリオバトルが開催されました。今回は4名の学生が発表者となり本の紹介を行いました。プレゼンテーション後の質疑も大いに盛り上がり、アクティブラーニング・スペースのスタートを飾るに相応しい、発表者と聴衆が一体となる双方向型イベントだったと思います。

尚、チャンプ本は、膳貴太さん(111J051)の紹介した『天国はまだ遠く』(瀬尾まいこ著、新潮文庫)でした。

アクティブラーニング

図書館2階・4階のグループ閲覧室が新しくなりました。今回のリニューアルでネットワーク環境や設備が一新され、アクティブラーニング・スペースとして生まれ変わりました。各部屋にホワイトボード、プロジェクター、電子黒板が設置されたほか、iPadを使った「双方向授業支援システム」も導入されました。合計4部屋ありますので、大いに活用して下さい。

また、アクティブラーニング・スペースでは、PC-SAT（学生スタッフ）が、皆さんの「学び」をサポートします。どうぞよろしくお願ひします。

利用時間



月～金 9:00～20:30
土 9:00～16:45



※閉講期間中の利用時間は、別途、館内の掲示等でご確認ください。
※原則として自由に利用できますが、授業やオリエンテーション、施設利用予約等で使用する場合は、退室をお願いします。

利用申込窓口：3階カウンター



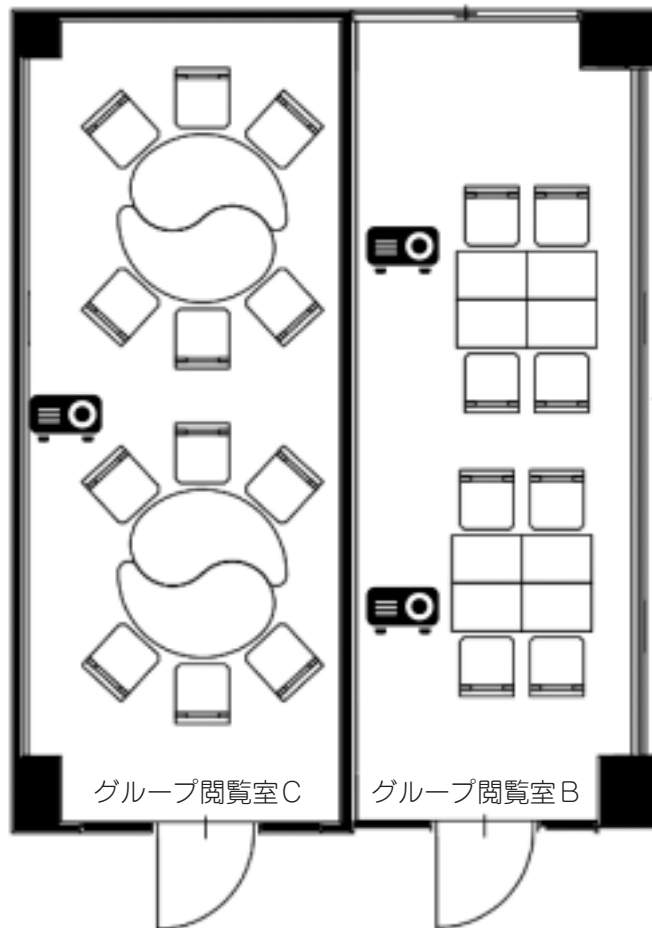
各種機器の利用には、貸出手続きが必要です。プロジェクター、電子黒板の利用、iPadの貸出など貸出窓口は、3階カウンターとなっています。

※3階カウンタースタッフ不在時は、1階カウンターで対応します。

施設利用予約



グループ閲覧室は、誰でも自由に使えるスペースとして開放していますが、ゼミの勉強会など特定のメンバーで使いたいという場合もあるかと思ひます。2014年度春学期の利用状況やアンケート結果などを見ながら、今後、施設利用予約について検討を行う予定です。



こんな使い方が出来ます

①グループでの共同学習



グループで話し合いながら学習できます。

②ディスカッションもOK



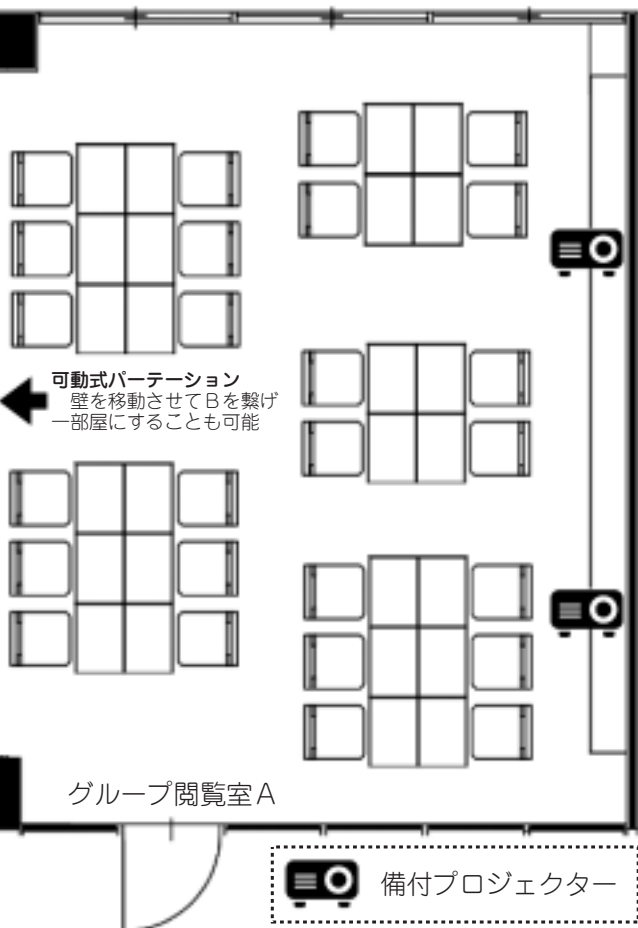
図書館は通常静かにしなければいけない場所ですが、ここでは、学修に関する会話は認められています。仲間とディスカッションすることで、新しい発見やアイデアも生まれてきます。大いに議論してください。

③プレゼンテーションの練習



プロジェクターや電子黒板の機能を使ってプレゼンテーションの練習できます。

スペース



目的に合わせて自由に室内をレイアウト

①机は自由に動かせます



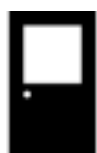
天板下のレバーを押して持ち上げるとキャスターで移動可能になります。

②可動式パーテーション



グループ閲覧室AとBを仕切っている壁は可動式です。壁を取り外して32席の大部屋としても利用できます。

2階グループ閲覧室D



2階グループ閲覧室は、館長室の隣にあります。座席数は、11席。4階と同じ仕様の壁面ホワイトボードとプロジェクター（及び電子黒板）が1台設置されています。

ホワイトボード・文房具の貸出



壁いっぱいに作られたホワイトボードが各部屋に一面ずつ設置されています。文字や図を書くだけでなく、マグネットで資料を貼ったり付箋のメモを貼るなど様々な使い方が出来ますので、共同学習に活用してください。また、学習に必要な各種文具類は、1階カウンターで貸出しています。



プロジェクター・電子黒板

①プロジェクター



PCの画像をプロジェクターでホワイトボードに投影することが出来ます。ネットの画像やパワーポイントのスライドなどPCで再生可能なものであれば投影が可能です。

②電子黒板



プロジェクターに映し出された画像に電子ペンを使って自由に文字や絵を書き込むことが出来ます。

iPadの貸出及び「双方向授業支援システム」

①iPad&iPad miniの貸出



既存のiPad miniに加えてiPadが20台導入されます。貸出窓口は、3階カウンターで、館内貸出のみとなります。利用は2時間以内で、月～金は20:30、土は16:45まで利用出来ます。

②双方向授業支援システム



PCからiPadへデータ送り、送られたデータをiPad側で加工することが出来ます。また、加工したデータをPCに送り返し、その結果をプロジェクターに複数並べて表示して比較検討するなど、双方向性を活かした学修に利用できます。

困ったときは… PC-SATに相談を



プロジェクターや電子黒板等の各種機器操作、PCに関する相談や質問等に答えてくれるのが、PC-SAT（学生スタッフ）です。PC-SATはアクティブラーニング・スペースに常駐するほか、随時、館内を巡回しています。何か分からないことや困ったことがあったら、お気軽に声をおかけください。

2013年図書館の統計

(2014年1月31日現在)

I 図書館の推移

	学生数	蔵書数	年間受入冊数	開館日数	貸出冊数	資料費
	人	冊	冊	日	千冊	千円
2013	2,419	299,396	3,343	279	14.2	27,770
2012	2,513	296,694	4,261	283	15.8	27,654
2011	2,677	293,148	4,930	275	16	30,849
2010	2,768	288,629	5,116	288	16	30,465
2009	2,724	283,610	5,042	281	16.9	30,497
2008	2,827	277,506	6,570	280	17.6	30,583
2007	2,875	273,877	8,148	276	17.9	32,267
2006	2,969	264,673	7,869	236	19.5	32,345
2005	2,968	254,921	6,878	232	18.4	29,700
2004	2,938	247,250	8,287	275	17.5	30,400
2000	2,549	219,368	6,769	274	18	35,805
1995	2,137	163,506	13,438	271	21.5	39,700
1990	1,769	96,752	8,195	280	11.8	22,650
1985	1,005	51,000	5,043	284	10.1	12,399
1980	877	36,000	2,599	236	6.8	7,588
1975	763	22,000	4,265	183	3.5	3,754
1968	256	10,000	2,838	[247]	[1.4]	[1380]
1967	125	7,000		[247]	[1.4]	[1380]

規程の変更に伴い、1999年以降は消耗品図書も含めた冊数とした。

II 蔵書冊数

	和書	洋書	合計
総記	11,255	1,457	12,712
哲学・宗教	21,880	16,149	38,029
歴史・地理	19,112	3,335	22,447
社会科学(含教育学・福祉)	82,158	18,568	100,726
自然科学(含医学)	13,188	1,294	14,482
工学(含家事)	7,338	482	7,820
産業	5,480	470	5,950
芸術(含楽譜)	10,477	924	11,401
語学	11,193	2,943	14,136
文学	42,332	14,280	56,612
その他	9,749	5,332	15,081
合計	234,162	65,234	299,396

III その他の蔵書資料数

和雑誌(紀要・寄贈含)	421	カセットテープ	1,059
洋雑誌(寄贈含)	121	ビデオ・LD・DVD	3,064
スライド	34	CD	1,262
マイクロ資料	18,825	CD-ROM	776

IV 館外貸出冊数(図書・製本雑誌):分類別

(2013年4月1日～2014年1月31日)

学生・院生・履修生のみ

	和書	洋書	合計
総記	522	0	522
哲学・宗教	1,866	22	1,888
歴史・地理	827	1	828
社会科学(含教育学・福祉)	4,812	7	4,819
自然科学(含医学)	540	0	540
工学(含家事)	212	0	212
産業	146	0	146
芸術(含楽譜)	830	0	830
語学	935	17	952
文学	2,241	14	2,255
その他	1,218	0	1,218
合計	14,149	61	14,210

V その他(他館との協力等)

(2013年4月1日～2014年1月31日)

資料借用	123	紹介状発行	11
(内、学生・院生 48)		(内、院生 9)	
資料貸出	44	紹介状受付	0
複写依頼	449	視聴覚コーナー利用	1,665
(内、学生・院生 152)		館内ノートPC貸出	6,484
複写受付	219	文献検索	25

VI 館外貸出冊数:学科・学年別

(2013年4月1日～2014年1月31日)

所属・学年	図書(製本含む)	未製本雑誌	CD
政治政策	2年	0	0
	1年	172	35
アメ・ヨ文化	後3年	8	8
	後2年	7	0
	後1年	120	2
	2年	152	20
	1年	77	3
人間福祉	2年	0	0
	1年	206	15
科目等		248	47
大学院生小計		990	130
政治経済	4年	302	1
	3年	380	12
	2年	316	0
	1年	281	0
コミュニティ政策	4年	136	0
	3年	387	1
	2年	142	16
	1年	204	0
欧米文化	4年	760	22
	3年	685	0
	2年	619	28
	1年	274	6
日本文化	4年	981	13
	3年	1,084	6
	2年	758	15
	1年	863	2
児童	4年	742	0
	3年	1,155	30
	2年	577	18
	1年	695	5
こども心理	2年	430	0
	1年	592	5
人間福祉	4年	144	14
	3年	366	6
	2年	165	3
	1年	178	0
科目等		4	0
学部生小計		13,220	203
院生・学生合計		14,210	333

発行・編集 聖学院大学総合図書館
 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号
 電話 048-725-5461 FAX 048-780-1096
 E-mail: lib@seigakuin-univ.ac.jp
 URL: http://seiglib.seigakuin-univ.ac.jp/